

令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和7年3月28日

幼保連携型認定こども園盛岡大学附属幼稚園

1 本園の教育目標

キリスト教精神に基づき、健康で明るい心の豊かな子どもを育てる。

心も体も健やかで明るい子ども

豊かに感じのびのびと表現する子ども

意欲を持って活動に取り組む子ども

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育目標に基づき、一人一人を大切にする保育を目指し、こども園として一日の保育の在り方を考えいくことを重点目標とする。

3 評価項目の達成及び取組状況

	評価項目	自己評価	取組状況	関係者委員の評価	意見 関係者委員の
1	教育保育の質の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> • ECEQ公開保育を通して、園内研修で焦点化した話し合いを積み重ねていくことができ、多くの学びを得た。 • 公開保育当日、参加者に園の良さをたくさん評価してもらい、職員の意欲に繋がった。 • 職員間の連携をとる努力はしているが、より意識していく必要がある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> • 公開保育は、客観的視点で意見やアドバイスがもらえることにより、園の良さや強みを知る機会が得られ、職員の意欲に繋がり良かった。また、多くの気づきや学びがあったことは成果。それが日々の教育保育にどう生かされたか、意識したのかが次の課題となる。 • 連携は目に見えないものなので、フィードバックすることでできていない部分が見える。連携とは何か具体化して、小さなことから積み重ねていくとよいのではないか。また、各リーダーからの伝達をしっかりとして組織建てをうまくしていくことが重要。日々のコミュニケーションや役割と責任を明確化し、お互いにフィードバックする。
2	未満児保育の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> • 保育所で他園の保育から多くのことを学び、実践に繋げようと意識した。 • 安全面に対する意識を高めたり保護者に安心して預けてもらえるような関係を作ったりすることをより意識していく必要がある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> • 保育の充実の部分では、保育への関心と学びへの意欲の高さは素晴らしいが、共有の難しさを感じられる。更に充実を目指すためには、どの保育者も自分事としてとらえ、園内研修等、教員間で共有していくことが必要。実習、実践の気づきを今後に生かしてほしい。 • 安心して温かい雰囲気で過ごせる配慮は今後も大切にしていってほしい。 • 保護者とのコミュニケーション、透明性の確保等、より意欲的に行なうことが保護者に安心して預けてもらえる関係の構築に繋がる。 • 園としての安全面に対する取り組み、保護者との信頼関係づくりへの取り組みを知らせる機会があればよい。
3	2号認定の保育の充実	A	<ul style="list-style-type: none"> • 温かい雰囲気で、安心して過ごせるよう努めた。 • 子どもの姿に合わせて、ゆったりと楽しく過ごせるよう環境を整えながら保育した。その意図が保護者に十分伝えきれていなかったので改善していきたい。 	A	<ul style="list-style-type: none"> • 子ども目線での声がけ、明るい笑顔、心遣いが伝わってくる。それが子どもの姿や成長にも表れていると感じる。これまで同様、一人一人の育ちを大事にして関わってほしい • 温かい雰囲気で安心して過ごせるよう、安全面も含め、環境を整えた点については肯定的に評価できる。けがをした際の保護者への対応については、課題が残る。 • 子ども達がゆったりとのびのび自由に過ごせ

					<p>することは良さである。担任以外にも全体を俯瞰している保育者がいるなど、園の配慮や取り組みを発信していくと良いのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者支援も含め、個別面談等ゆっくり話をする時間も大切である。 ・情報伝達方法はさまざま対応しているが、今後も保育体験や行事等保育の意図を伝えていく必要がある。 ・保護者参加の行事は、保育の意図や方法を体験してもらうことが有効である。
4	子育て支援	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の保育体験は、園での様子を知ってもらう良い機会となった。仕事をしていて園行事に参加する難しさを感じている保護者もいるので、開催の仕方は検討が必要。 ・未就園児サークルや子育て相談などを通し、子育て支援に努めた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育体験の効果や参加した保護者の感想を伝えると良いのではないか。 ・こども園の子育て支援としての機能の役割の中に、教育及び保育の活動への積極的な参加についても記されている。保育体験を実施し、園の様子等を知っていただいたことは評価できる。今年初の取り組みで、開催時期、参加のあり方や選択の幅、園児の衛生面等課題もある。子育て支援機能の役割には、保護者の園活動への積極的な参加の他に、保護者の相互理解も記されている。感染症対策、保護者からの質問に対する回答姿勢、日頃の園での様子の配信方法等課題がある。 ・未就園児サークルや子育て相談といった子育て支援を実施できたことはよかった。

評価 (A…成果があった B…どちらかと言えば成果があった C…どちらかと言えば成果が無かった D…成果が無かった)

4 総合的な評価結果

自己評価	理由	関係者委員の評価	意見	関係者委員の
A	E C E Q公開保育や保育体験など新たなことに意欲的に取り組み、保育に活かすことができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・公開保育は学区の小学校からもできる限り参加することが肝要。園での様子を知り、小学校入学にあたり子どもへの対応に活かしたい。 ・意欲的に取り組んだことで得られた成果が、日頃の保育に活かされていると思う。園の方針の確認、学びや悩みにも対応した研修機会、連携や情報共有のあり方についても引き続き取り組んでいくとよいのではないか。 	

評価 (A…成果があった B…どちらかと言えば成果があった C…どちらかと言えば成果が無かった D…成果が無かった)

5 今後取組む課題

	課題	具体的な取組状況
1	教育保育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の生活の組み立てや遊びの充実について学びを深め、保育に繋げていく。 ・安全な環境・保育に対する意識をさらに高めていく。
2	園内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの職員が参加できるように工夫しながら、園内研修を継続的に行う。 ・意欲的に語り合い、見方考え方を広げていき、連携を取りながら日々の保育に繋げていく。

3	子育て支援	<ul style="list-style-type: none">・未就園児サークルや子育て相談を通して、地域の子育て世代の支援に努める。・保護者との信頼関係づくりに努め、子どもの成長を一緒に支えていく。
---	-------	--